

おお大勝利

平成 31 年度 / 令和元年度 山東サッカー部報第 3 号 (4 月 25 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2A 第 2 節山南に屈する

4 月 20 日 (土) Y2A 第 2 節山形南戦が行われました。山南は数年前に山形中央コーチから **S コーチ** が転身を遂げ山南コーチに就任して、規律が仕込まれ、毎年スキのないチームに仕上がってくる。それまでは、人数・タレントともに山東よりもよっぽど豊富であるにもかかわらず、山東の方が戦績が良く、「南校は良い選手いっぱいいるのにね (もったいないね)」などと上目線で噂していたが、直接対決でも勝てなくなり、山南が東北新人に出場するなど好成績を挙げ始め、もはや山東の上目線は維持できなくなった。客観的にとらえれば、**公立高校最大の部員数を誇る山南が強いのは当然**であり、数年前までが不調だったのだろう。とはいえ、対決するとなると、こちらも簡単に土俵を割りたくないのは当然。

場所は山形中央。今年の Y2A には明正がいるので、Y2B と比べると断然人工芝の試合が多いが、クレー (土) での試合。私個人としては、練習もクレーでやっているし、人工芝でないとうまく行かない繊細な攻撃なんて期待できるチームでないし、そして、「クレーだとモチベーション下がる」などと環境に文句を言う選手であってほしくないため、クレーでも全く問題なし。県総体などのレベルでも、1・2 回戦などでクレーでの戦いとなっても何の問題もないと思っている。逆に天然芝の状態が悪いくらいだったら質の良いクレーの方が良いとすら思っている。**私の発想の根本には、「本当に上手い選手はどのピッチでも上手い」という信念がある**。ピッチの話はさておいて、質の良い山形中央 G、風はやや強め、晴天。

この日、**清野総監督 (後援会名誉会長)**、**後藤報道局長**とともに、第 1 節ではお目にかかれなかった清野さんと山東サッカー部同期の**工藤先輩**もお越し下さった (これで「**いつものお三方**」そろい踏み)。また、**高橋コーチ・小池新コーチ・御船新顧問**とともに、昨年度まで GK コーチをして下さった**齋藤 GK コーチ**もいらして下さった。加えて、数年前まで山東のトレーナーを務めていて、現在、国際的に活躍されている**トレーナーの名和さん**もいらして下さった。まさにオールキャスト! さあ、あとは選手が頑張るだけ。

試合が始まると、ボールが行ったり来たりの互角の展開ながら、**ボールコントロールの差があり、やや山南優勢**。山東も球際では負けていない、というか、**2 年生左 SB コーダイ**なんかは長身を生かした「16 文キック」¹を駆使し、今期球際ではほとんど負けていな

¹ ジャイアント馬場の必殺技の一つ。この注を付けなければいけない時代を感じさせられます。というか、もはやジャイアント馬場にも注を付けなければいけないか。

い。コーダイは昨年新チームになってからずっとレギュラーだが、昨年は得点にも失点にも絡む浮き沈みの激しい選手だった。しかし、**今期変なファールをすることなくボールを奪いきることができており、相手に前に入られシュートを打たれそうな場面でも、正当なスライディングで体を投げ出し、ピンチを防いでくれる。最終ラインで最も頼りになる。**3年ダイキの負傷とともにボランチから**本職の？CBにコンバートされた2年ユースケ**も（質は雑ではあるが）安定してボールを跳ね返しており、安心感あり。ただ、ユースケは、もう一人の**2年CBヤグチ**とともに、**不要なファールが多すぎる**。ヤグチは最後の最後、相手の状況を観て、当たり方を変えることができず、ただ突っ込み、ファールになることが多く、ユースケは見え見えのバックチャージ等レフリーにすぐわかる故意の（稚拙な）ファールが多い。要改善である。ここまで書くと、もう一人のDFにも触れた方が良いでしょうが、**2年右SBユッキー**は相手のドリブルやパスワークにより自分のサイドを突破されないことへの意識よりも自分がボールをもって相手を突破することの方の意識が強く、正直DFっぽくない。縦パスに対しても、（セオリーに反して）外側から相手の前に入ろうとして入りきれず簡単に裏を取られることがあるなど、**メンタリティが一か八かのアタッカータイプ**。しかし、SB志望、という変わったところがあり、実際SBでユッキーのオーバーラップやそこからのクロスなど、魅力的ではある。ともかくも、2年生DFラインの辛抱がないとこの試合持たない。

ボランチコンバートの3年主将ニコラスことシオンは、前節同様に勝負強い球際で、光るものがある。3年ボランチのノブ、ニコラス、そして2年生DF4枚がシンプルに弾き返し、それをしぶとく攻撃につなげる山東。それに対して、山南はFWとMFとの関係でボールをおさめ、意図的に逆サイドに振る攻撃でアクセントをつけてくる。山東では、「**ワンタッチの選択肢を必ず持つこと**」（「必ず行使すること」ではない）、ボールを収めて丁寧にやってもいいが、例えば前方へのフィードをためらってバックパスをするがボールを受けた選手も狙われていて結局よりアバウトなボールを入れてしまうなどの「**丁寧にやろうとするプレーが逆に雑なプレーをもたらしのはやめること**」とコーチングしている。ともかく、どこかでスキルに基づく変化を入れていかないと、「相手の攻撃を跳ね返して、競り合って、拾って・・・」だけでは、決定機を作りにくい。**3年ノブやアキシン、オサ**に期待したいプレーだが、前半はその余裕がなかった。前半、**2年左SHナカノ**の突破から、3年右SHアキシンことシンゴのシュートなど、惜しいシーンも作りましたが、惜しい攻撃は山南の方が多い前半。両チームとも、フィニッシュ、またはフィニッシュ前のプレーが雑で決めきれず、**スコアレスでハーフタイム**。

後半は、全体として両チームオープンな展開で、両チームのチャンスがそれぞれ多かった（両チームとも前がかったので）。特に、**3年FWオサことオサイリスのボールキープ、ドリブルからのスルーパス、それに反応する2年FWヒラマサの力強さ、スピードが絡み合い、前半よりしっかりとしてシュートが打っている**。特に、ナカノからヒラマサにわたりヒラマサがダイビングヘッドしたシーンや、誰かの右からのセンターリングが逆サイドのナカノまで流れ、ナカノがフリーでシュートを打ったシーン、またヒラマサの右からのセンターリングにゴール目の前でニコラスがボレーを放ったシーンなどなど、せめて1点くらい入れてほしかった。あっ、ゴール右寄りのまずまずの距離という左利きの大好

物の位置で得たFKもありましたね！ 壁に思いっきり当てたノブのシュートは何だったのでしょか²。結局、山東の得点ゼロ。たまたま入らなかったのではなく、それが実力。対して山南、山東の不用意なファール（FK）や不用意に与えるCKをファーサイドで折り返し、または、直接決め、2得点。力のあるチームは、いろいろな得点の仕方があるものです。山東は、前節ビッグセーフが光り、フレスキックだけではない成長を感じさせた3年 GK イグラが、今節の失点シーンにて、ファーサイドのボールにチャレンジできなかったことが残念でならない（チャレンジして失敗したのなら仕方がない、その失敗は次につながる）。ニアにゾーンの選手³を配置し、「GKは真ん中からファーサイド専門だぞ」と念を押しているにもかかわらず、勝負を躊躇してしまった。ホタテさんなら勝負行ってましたよ！⁴ 2失点目では、マークについてのコーダイが、最初っからくっつき過ぎて、最後にはがされて相手に仕事をさせてしまった⁵。これも対応の敗北。結局、2対0。試合後、Sコーチから「人工芝だったら、うちはもっと良いサッカーできました」なんて、ダメ押しされちゃいました。さすが、相手の嫌がる言い方を知っていらっしゃる！！ この野郎。

昨年はチャンスらしいチャンスなしに敗れていたのが、両チームの差は縮まったと評価してよいが、やはり山南の方が上ということを実感させる試合でもあった。あれだけチャンスがあれば、せめて引き分けにはしたかった試合ではありますが、点数を決めきる力こそが勝負を分ける力。繰り返しになりますが、たまたま入らなかったのではなく、実力不足でした。あつい応援ありがとうございました。今度は10連休です。YL（山形県リーグ）2試合、その後、県総体の切符をかけたML（村山地区リーグ）3試合ございます。Mリーグでは、とりあえず、各4チームの3ブロックにて2位以上の成績で県総体の切符が確定します（ただし、1位だとシード校と地区総体ができます）。応援よろしくお願ひ致します。

4月28日（日）Y2A第3節 VS 山形中央B @米沢SF東 9:45～

4月30日（火）Y2A第4節 VS 酒田西 @山形市球技場 13:30～

5月3日（金）Mリーグ第1節 VS 創学館 @山形明正 11:35～

5月4日（土）Mリーグ第2節 VS 山形明正 @山形明正 10:00～

5月5日（日）Mリーグ第3節 VS 寒河江 @山形明正 11:35～

² 高橋コーチとも試合後話になりましたが、ファーサイドに（GKサイドに）ストレートでパワー系のシュートを打つならわかる。または、壁越しに（ニアサイドに）カーブシュートを打つならわかる。あのニアへのパワーシュートは何だったのでしょか。そろそろCKもFKもキッカー変更ですね。

³ マークを背負っておらず跳ね返す専門の選手。

⁴ 勝てたかどうかは不明。

⁵ マークは、最後最後にできれば良いのです。ボールくる前だけぴったりついて、肝心の時に離すのでは、本末転倒。